

1 改定の背景

現計画策定から約10年が経過し、社会情勢など緑を取り巻く環境の変化や、根拠法である都市緑地法が改正され、また整合を図るべき上位関連計画が改定されたことから、基本計画を改定する。

◆上位関連計画等の変遷

秋田市緑の基本計画 [平成20年改定] (現計画)

- ← 秋田市景観計画 [平成21年策定]
- ← 第6次秋田市総合都市計画 [平成23年改定]
- ← 第13次秋田市総合計画 [平成28年改定]
- ← 秋田市環境基本計画 [平成29年改定]
- ← 都市緑地法 [平成29年改正]

秋田市緑の基本計画 [平成30年度末改定予定]

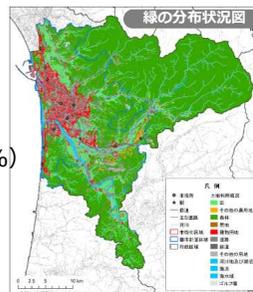
◆緑を取り巻く状況の変化

- ・人口減少社会への対応
- ・地球温暖化対策における緑への期待
- ・生物多様性の保全に対する意識の高まり
- ・多発する自然災害への対応
- ・観光まちづくりに対する気運の高まり
- ・公共施設の維持管理費の増大や更新時期の集中
- ・「緑の活用」に向けた法改正への対応

2 緑の現状 (H19との比較)

◆現計画での目標値

- ・市街地における緑地率 (H29目標: 24%)
23.0% ⇒ 23.2%
- ・都市公園バリアフリー化率 (H29目標: 64%)
42.8% ⇒ 64.6%



◆都市公園

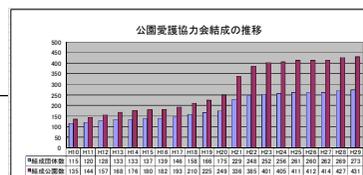
- ・都市公園の増減
182箇所 (546.19ha) ⇒ 208箇所 (611.62ha)
※市民1人当たりの都市公園面積19.51㎡は、全国平均の約2倍
※秋田駅周辺など都市公園の空白地域が存在する。

◆都市公園以外の緑

- ・児童遊園地 456箇所 (31.30ha) ⇒ 467箇所 (24.87ha)
- ・保存樹 196箇所 (1,967本) ⇒ 176箇所 (1,926本)

◆市民協働の取組み

- ・公園愛護協会の増減
166団体 (225公園) ⇒ 273団体 (431公園)
- ・緑のまちづくり活動支援基金
助成実績1,507件 57,027千円



3 市民からみた緑の評価

市民へ実施した居住地域の生活環境調査の結果、緑に関する「緑の豊かさ」「公園・緑地」「自然景観の美しさ」の3項目はいずれも満足度が相対的に高まっている。

▼やや満足以上の割合 ※全23項目

- ・緑の豊かさ 52.0% 1位
- ・自然景観の美しさ 39.8% 4位
- ・公園・緑地 37.7% 6位

4 計画課題の整理

- ◆骨格を形成する緑の保全
- ◆市街地を取り囲む緑の保全
- ◆持続可能な公園管理
- ◆身近な公園整備の推進と整備方針の見直し
- ◆河川や道路を活用した水と緑のネットワークの形成
- ◆生活空間における緑化の推進
- ◆多様な主体との協働による緑化活動の推進
- ◆心身の健康増進や学びの場としての充実
- ◆市街地における緑の演出
- ◆公園に関する多様なニーズへの対応

改定計画の基本的な考え方 (案)

5 基本理念

みんなで
まもるみどり

みんなで
つくるみどり

みんなで
そだてるみどり

みんなで
いかすみどり

新たに

これまでは・量 の向上

これからは・質 の向上

- ・持続可能でコンパクトな都市づくりに寄与する公園・緑地の魅力創造
- ・多様なライフスタイルやニーズに対応した公園・緑地の再生・活性化



6 緑の将来像

多彩な緑をみんなでつなぐ
心うるおう住みよい都市

市民とともにみどりを育て、みどりをつくり、みどりを活かし、みどりを守り、みんなでみどりを次の世代につないでいき、心うるおう住みよい都市を目指します。



7 各基本理念毎の基本方針

■ みんなでまもるみどり

- 樹林地、農地等、自然の緑を保全します
- 公園施設の計画的な維持管理を進めます

■ みんなでつくるみどり

- みどりの拠点づくりを進めます
- 水とみどりのネットワークづくりを進めます
- みどり豊かな生活環境づくりを進めます

■ みんなでそだてるみどり

- みどりのパートナーづくりを進めます
- みどりへの「気づき」づくりを進めます

■ みんなでいかすみどり

- 県都秋田にふさわしい「顔」づくりを進めます
- 既存ストックの活用を進めます